

# U-Home

U-Home

# だより

〒708-1222  
岡山県津山市西中 329-1

株式会社 **U-Home**

TEL 0868-36-4372

## 第 8 2 号

uhome-tsuyama [検索](#)

### 《 とうかした 灯火親しむべし 》

本来なら涼しい秋の夜長、貯めていた本を読むのに適した季節の到来のはずですが、だらだらとテレビを見る習慣には勝てずにいる今の状態に、人生の終盤にさしかかりなんとも無駄な時間を過ごしているものだと思うこの頃です。



長く続いた夏のせい、今年は秋が来るのが少し遅いように感じられます。それでも秋晴れの青空に映える山を眺めてみると、着実に紅葉は進んでいます。子供のころ、秋になると訳もなく気分がウキウキして、日曜日には弁当を作ってもらい山に遊びに行き、アケビを取ったり、芝栗を拾ったり、キノコを探したり、山芋を掘ったり、ただやみくもに雑木林を走り回ったり。寒くなるまでの間幾度となく山に遊びに行ったものでした。最近ときたら山はシカやイノシシ

に占領されてしまっていて、下手をすればクマにだって遭遇しかねないありさまで、とても遊びに行く所ではなくなっていました。



今年の夏、あちこちを車で走り回っての帰りに「???」、確か今は夏休み中のはず、ただ一人の子供の姿を見なかったなあ。数十年前には小川や水路にさえ小魚がうようよしていたのに、今はどこにも魚など居やし

ない。私は毎日川遊びをしていたのに、今の子供は夏休みに川遊びすら出来ません。秋になっても遠くから山を見上げるだけで、山遊びの楽しさ知ることは出来ません。とてもかわいそうなことです。これもそれも人類の犯した環境破壊のせいでしょうか？出来ることなら昔の豊かな自然が復活して欲しいと思うのですが、もう無理かな～？

なかなか明るいニュースが無い昨今ですが、私にとって良いことが二つばかり。

一つは、台風によってもたされるより強い広戸風が異常に怖い私ですが、例年なら25個前後、多い年には30個近く発生する台風が今年はずか16個、台風シーズンの9月に2個10月に2個、9月の2個は本土に近接前に消滅、10月は本土から遠く離れたところ。なんか拍子抜け、なんてことは言ってもらえません。もう19年も前になりましたが平成16年第23号台風はこの地区に住む者にとって本当に悪夢でした。悪夢の再来は何としても起こってほしくないと思うのみです。

二つ目は、私の人生この先ずっと外す事は無いと思っていたマスクが、今年の5月8日から個人の自由となったことです。さすがに病院に行くときくらいはマスクをしますが、その他の時は外させてもらっています。



思い返せば、今から3年8ヵ月前の令和2年1月、ちょうど中国の春節の時に中国からの旅行者が大挙押しかけて来ていた奈良に、一泊の旅行に出かけました。日本有数の古都奈良は8つもの世界遺産を始め数多くの神社仏閣・遺跡などがあり、特にそのすばらしい木造建築物群を一度ゆっくり見て歩きたいと前々から計画していて、やっと念願がかなったという事です。



初日は奈良の中心地に近い世界遺産などの大所を巡り、二日目は南部の方にあるちょっとマイナーなお寺を巡る予定でした。その初日の終わりごろホテルに向かう道すがら、たまたま通りかかった奈良公園で若草山の山焼きがあるのを知り見物することにしました。セレモニーは花火から始まりました。うわさに聞いていた若草山の山焼きは、それはそれは荘厳で見ごたえのあるものでした。

しかし、広い真っ暗な奈良公園はあまり隙間すきまの無いくらいに人でいっぱいでしたが、言葉を聞く限り回りには非常に多くの中国人旅行者が居ました。その後立ち寄った飯屋めしやにも中国人がいっぱいで大きな声でしゃべりながらご飯を食べていました。

その頃はまた、中国の武漢で未知の感染症が広まっていて、日本でも武漢帰りの数人が感染した程度のニュースでしたから、あまりの中国人旅行者の多さに辟易へきえきとしながらもそれほど気にはとめていませんでした。

南部の方のマイナーなお寺は、どこに行ってもたまたま白人が居るだけで中国人旅行者は見かけませんでした。旅行が終わり家に帰る道すがら、ラジオのニュースで「本日、日本人初の国内感染者が見つかりました。この人は渡航経験のない奈良県在住のバスの運転手で……」

その頃はまだマスクをしなければならないという意識はなく、楽しいはずの一泊二日の奈良旅行が一気に暗転した思いでした。私がコロナを強く意識をいだしたのはこの時からでした。



データをひも解いてみると、コロナが「5類」に移行した今年の5月8日までに、国内の感染者の累計が約3380万人、死者の累計が74千人とものすごい猛威を振りました。5類以降以後はデータが出ませんが、今なお多くの感染者が出ているという事です。

ウィルスは変異を重ねるうちに、感染しやすくなった代わりに弱毒化しているようでした。全国の一日の感染者の最大は、第一波は663人、第二波は1606人でしたが、毒性が強くて多くの人が重症化したり亡くなりました。この後次の感染拡大が起きるたびに感染者は多くなりました。そして第七波の一日の感染者の最大は26万人、第八波は24万人と爆発的に多くなりましたが、重症者や死者の割合



は少なくなりました。そして今年の5月からは、季節性インフルエンザと同じ格付けの5類に移行しました。

正体が見えないのでただ恐ろしく、この先は永遠にコロナにおびえながら生きていかなければならない、マスクもこの先いかなる場所でも外すことは無いだろうと思っていたのですが、気が付けば街中などではほとんどの人がマスクをしていない光景を目にするようになり、私にとって令和2年1月からの恐怖の期間が終わったような気がしました。



また、ひょっとすると新型コロナ感染症も感染しやすい人と感染しにくい人が居るのかな、とってしまいます。かなり用心しているのに既に3回も感染してしまったという人が居る一方、私のように5月8日以降は積極的にマスクを外す生活をしていても感染しない人が居る。そういえば、私はほんの小さいころから25歳まで、毎年必ずインフルエンザに感染していました。結婚当初26歳に最後のインフルエンザを経験してから今まで約40年間もインフルエンザに感染していません。最近ではそれに安心どころか逆に怖くなり、なるべく早くワクチンを打つようになりました。さて私にとってのこの記録はいつまで続くのやら？

コロナの流行中は徹底的に感染対策をしていたために、インフルエンザが完全に影をひそ潜めてしまっていたのですが、コロナが5類に移行してからは人々の気が緩んだせいで、今現在季節外れのインフルエンザがかなり流行しているみたいです。やはり感染症対策が必要な場所などでは有効な対策、特にマスク着用が効果的な場面ではやはりマスクの着用が必要だと思った次第です。

秋は空気が澄んで山の稜線もくっきりと浮かび上がります。実りの秋、秋は美味しい食べ物がたくさんあります。秋の味覚と言えば、栗・松茸・柿・梨……。そして一般消費者のアンケートでも圧倒的に第一位はサンマ。でも近年不漁で立派なものはあまり見かけなくなりました。国産の松茸は食べるどころか見ることもさへ困難になりましたから、食べようと思えば口に入るだけかもしれませんが。この前スーパーで見たサンマのスリムなこと、さすがにこれじゃあなかなか買う気になりません。



サンマは昔から日本人の秋の味覚で、皮下にたっぷりあぶらと脂をも蓄えたヤツを焼けばポタポタと脂を落とし、そしてもうもうとした白煙いぶに燻されながら焼けたサンマは本当に美味しいものです。

そういえば、三陸沖で獲れたサンマは脂がのって美味しいと言われますが、本当はオホーツク海で栄養を蓄えたサンマは、夏が終わると産卵のために南下しますが、次第に

脂を落としながら南下します。そして三陸沖ぐらいにさしかかったサンマが一番食べごろになっているというわけです。(間違っていたらゴメンナサイ)

サンマの内臓を食べようとして、はらわたの中にウロコがびっしりと入っているのを時々見かけます。サンマには胃がなく短い腸があるだけで、食べたものをわずか 20 分～30 分で体外に排出するらしい。



ではこのたくさんのウロコは何？ウロコの付いたサンマを見たことはありませんが、サンマもちゃんとウロコが付いた魚です。ただ非常に取れやすいウロコらしく、網で一網打尽にするときに網の中でこすれてしまって、全部落ちてしまいます。そのウロコが口に入り腹の中にいっぱい溜まってしまったというわけです。

サンマは日本人だけの味覚でした。それが近年になり台湾や中国の冷凍設備の付いた巨大な漁船でやってきて、北方の公海上でゴっそりと取って帰っている。日本人だけの味覚だったものが、今では漁獲高1位は台湾、次いで日本、中国。中国は今でもサンマを取っています。

ここからはただの**私のひとり言**です、読み捨ててください。

中国は日本の原発の処理水を汚染水と呼び、恐れ、日本の海産物を全面輸入禁止にしたはず。じゃあ日本近海のサンマは危ないから獲っちゃダメ。台湾が獲るサンマはほとんどが中国や韓国に輸出されます。これも輸入しちゃダメ！尖閣諸島あたりでは中国船が領海内に侵入してまで漁をしようとしてるけど、日本近海の魚は危ないよ！日本の南では中国船が大挙してやってきて珊瑚の違法操業をやっている。それも放射能に汚染されてるかもよ？

中華料理で高級食材として使われるフカヒレ・干しアワビ・干しナマコ。高級品は全て日本産なんですけど。まあおそらく政府高官やお金持ちは、他国から輸入してでも日本産の超高級食材を食べるんでしょうけどね。

そもそも日本政府はなぜこんなにも弱腰なんでしょう？他国の顔色ばかりうかがって、日本国民の生活を守るっていう意気込みはぜんぜん伝わってこないのは私だけでしょうか？

放射性物質トリチウムは自然界のも多く存在していて私たちの体の中にも存在します。世界中の原子力発電所は一定量のトリチウムを含む処理水を海に放出しています。福島原発の処理水はWHOの定める飲料水基準の7分の1まで薄めて、事故前の年間放出量22兆ベクレル以下で放出する予定です。それが4か所の原発の全てで日本の処理水の放出量をはるかに上回る、最大で約6.5倍ものトリチウムを放出している中国にとやかく言われる筋合いのものではないのはあきらか。

中国は、「日本は世界の海洋環境や公衆の健康を顧みない」など非科学的な暴論を繰り返しているが、自国のトリチウム海洋放出について、周辺国に説明もなければ合意もない。いったいどの口が言うの？と言いたい。

恐らくは日本政府も反論はしているのだろうけど、日本国民にすら響いて来ないのだから、世界の共感を得られるはずがない。いつも思う事だけど、日本って本当に発信力が無い。交渉力が無い。リーダーシップ力が無いから諸外国が付いてこない。結局はお金で解決しようとする。

今回の中国の日本産水産物の全面禁輸という科学的根拠のない言いがかりに対して、総理は即時撤廃を求めると言ってるけど本当に対話してるのかな？たまには毅然とした態度で対決してほしいと思います。恐らく他の国ならすぐに対抗処置を取るはずだけど、日本はそんな愚かなことはしないまでも、以前台湾がパイナップルの禁輸をされたときに日本をはじめ世界が助けてあげたように、世界に向けて「日本の水産物は安全だから買って！」と言っているのでしょうか？もちろん国内に対しても「水産物を積極的に食べましょう！」って言っているのでしょうか？もちろん無策という事は無く、国としたら色々手をうってはいるのであると思いますが、ぜんぜん聞こえてこない。仕方がないから漁業関係者にはいくらかの補償金を出して我慢してもらおう。結局お金で解決？

日中関係を修復しなければならないのは、日中双方思っているはず。しかし彼らはいつものこと何か前提条件なしには対話する気は無く、日本に政治的な譲歩が欲しいからこのような言いがかりを付けてくるだろう。でも余り追いつめると、彼らが恐れている日米韓の結びつきがさらに強まるから、逆効果だと思うんだけど？

前々から、中国の政治的な駆け引きで、日本は色々な不利益をこうむってきたわけだが、中国は手放しでは信頼するに値しない国だから、いい加減にいろんな分野で中国依存を減らしたり無くしたりしなければならないんじゃない？そんなことおまえに言われなくても、誰にも分かっている！って言われるでしょうけど。

今の総理は、「増税メガネ」と国民から揶揄<sup>やゆ</sup>されていることがひどく気になっているようで、増税で稼いだお金を今度はばらまこうとしている。そりゃあお金をもらったら一瞬だけ嬉しいけど、今まで政権末期の内閣が何度かやってきたバラマキ、どれもうまくいかなかったのでは？ばらまくほどのお金があるなら、なんとか有効に使ってもらいたいものだと思う次第でした。

今回とても長い独り言（愚痴<sup>ぐち</sup>？）になってしまいました。あくまで独り言なので、読み捨ててください。

先週県南に行き山を見上げると、ずいぶん色づいて来ていました。いくら異常気象続きと言ってもちゃんと季節は巡ってくるもんだと思い帰宅して那岐山を見ると、ええっ！まだほとんど紅葉を始めてない。前からこうだったかなあ？

紅葉で思い出したけど、「ナラ枯れ」がひどい。この夏、故郷の香北地区の入口に立ち北を見上げて愕然<sup>がくぜん</sup>としました。あちこちにたくさんの枯れ木が目立つ。とうとうここまで来たか！（ナラ枯れの件は次号で）

今年の冬は、スーパーエルニーニョの影響で過去に経験したことがないほどの超暖冬になると予想する気象予報士もいるけど、今年のカメムシの多さは一体なんだ！今年の初めみたいな大雪はもう本当にごめんです。

令和5年10月30日